

研修機関が公表すべき情報の内訳

法人情報	法人名称・住所 及び連絡先	有限会社優美 〒066-0017 千歳市日の出 1 丁目 1 番 41 号 TEL: 0123-22-5511		
	法人の代表	取締役 永田真理		
研修機関情報	法人名称・住所 及び連絡先	ゆうび介護福祉学院 〒066-0017 千歳市日の出 1 丁目 1 番 41 号 TEL: 0123-22-5511		
	養成施設の代表	永田 真理		
	学則	学則 PDF		
	研修施設の開設	平成 26 年 9 月 1 日		
	研修のスケジュール	学則 PDF		
研修課程に関する情報	定員	学則 PDF		
	研修受講までの流れ (募集、申し込み)	学則 PDF		
	費用	学則 PDF		
	科目別シラバス	介護福祉士養成研修時間割 参照		
	科目別教員数	介護課程Ⅲ	介護福祉士 吾妻真利子	
		医療的ケア	看護師 外崎 幸子	
	使用する教材	株式会社日本医療企画 実務者研修テキスト		

介護福祉士実務者養成研修実施要領

ゆうび介護福祉学院

研 修 の 概 要

項 目	内 容
1 申請者の名称	有限会社 優 美
2 申請者の主たる 事務所の所在地	〒 066-0017 千歳市日の出1丁目1番41号
3 代表者の職・氏名	取締役 永田 真理
4 学校その他の施設の名称	ゆうび介護福祉学院 ① ゆうび介護福祉学院 本校 ② ゆうび介護福祉学院 ビアワークス教室
5 研修の名称	介護福祉士実務者養成研修
6 研修の課程	介護福祉士実務者養成課程
7 事業所の所在	千歳市
8 対象地域	特に定め無し

学 則

1 研修の目的

ゆうび介護福祉学院が実施する介護福祉士実務者養成研修は、介護・福祉を必要とする方々の多様なニーズに対応するために、専門的介護・福祉に対応する人材の育成と、有資格者として必要な人格の形成に努め、地域社会に貢献し得る実務者を養成することを目的とする。

2 研修の名称

介護福祉士実務者養成研修

3 研修の要旨

研修 課程	事業所の 所在地	研修 形態	研修期間 (コース科名)	定員 (人)	最大延長 (最大在籍可能期間)	備考
実務者 研修	千歳市	通信 課程	6か月	20	1年	※1

※1 スクーリング会場は千歳市日の出であるが、受講状態により会場を千歳市東郊に設定することがある。

4 受講資格

介護福祉士国家試験受験予定者

5 有資格別研修科目と時間数

学則別紙 1

6 標準通学日程カレンダー

学則別紙 2

7 研修日程表

学則別紙 3

8 受講料

学則別紙 4

9 教材目録(主要テキスト及び通信課題)

学則別紙 5

10 職員組織

- (1) 学校長 1名
- (2) 専任教員(教務主任) 1名
- (3) 講師 若干名
- (4) 事務員 1名以上

1 1 募集方法と受講申込手続等

(1) 募集方法

新聞広告・ホームページ等で告知し募集を行う。

(2) 受講申込手続

受講申込書、経歴書、資格証の写し、運転免許証の写しまたは住民票の写し、証明写真(40×30 mm)2枚を提出する。各提出書類については、理由の如何を問わず返還せず、当講が保管後破棄する。

様式1 受講申込書 様式2 経歴書

(3) 本人確認

上記、免許証の写しまたは住民票の写しにて確認する。

(4) 研修の免除

保有資格に応じ研修の一部を免除する。科目履修の免除の確認は、受講申込手続時に提出された資格証で確認し認定する。(免除は、学則別紙1に示す。)

1 2 受講決定

(1) 書類審査

申込書・経歴書・保有資格証の内容を確認する。

(2) 結果通知

書面にて受講決定を通知する。

様式3 受講決定通知書

1 3 受講決定後の手続

受講決定通知受理後5日以内に受講料を一括で納入する。納入方法は、現金または銀行振り込みとする。受講料納入確認後、すみやかにテキストと課題を配布する。

1 4 受講辞退と受講料返金等

(1) 開講日前の受講辞退

開講日前に受講を辞退する場合は、開講日の5日前までに開講前受講辞退届出書を提出すること。受講料からテキスト代、事務手数料5,000円(税別)、振込手数料を引いた金額を返金する。

※開講日とは、開講月の1日とする。

様式4 開講前受講辞退届出書

(2) 開講日以降の受講辞退

開講後に受講を辞退する場合は、開講後受講辞退届出書を提出すること。理由の如何を問わず受講料の返金を行わない。

※開講日とは、開講月の1日とする。

様式5 開講後受講辞退届出書

1 5 修了認定の方法

(1) 学則別紙6の通りとする。

学則別紙6

(2) 研修修了者に対し、修了証明書を交付する。

1 6 補講の取扱

(1) 補講による修了認定の取扱

受講期間内に通信課題の未提出またはスクーリング未受講で規定時間に満たず、修了認定が受けられなかった場合については、ゆうび介護福祉学院が行う介護福祉士実務者養成研修において、不足の部分（課題・時間数）を受講し、評価基準を満たした場合は修了認定を受けることができる。最大在籍可能期間内に、全ての評価基準を満たすことが出来なかった場合は、当該コースでの修了認定は受けられない。

(2) 通信課題の未提出について

- ① 最大在籍可能期間は、1年以内とする。
- ② 未提出課題は、指定日(当講が指定した日時)までに提出する。
- ③ 費用は1科目につき3,000円(税別)とし、費用は前もって徴収する。

(3) 介護過程Ⅲ(スクーリング)の未受講について

- ① 最大在籍可能期間は、1年以内とする。
- ② 規定時間数に満たない欠席時間数を受講する。
- ③ 費用はスクーリング1時間につき3,000円(税別)とし、費用は前もって徴収する。
- ④ 補講日程は、当講と受講生が協議して決定する。
- ⑤ 最大在籍可能期間内に、ゆうび介護福祉学院が開講する研修に補講として参加し、必要な時間数を受講する場合の費用は、事務手数料3,000円(税別)のみとする。

(4) 医療的ケアの演習(スクーリング)の未受講について

- ① 最大在籍可能期間は、当該コース終了後6か月以内とする。
- ② 規定時間数に満たない欠席時間数を受講する。
- ③ 費用はスクーリング1時間につき6,000円(税別)とし、費用は前もって徴収する。
- ④ 補講日程は、当講と受講生が協議して決定する。
- ⑤ 最大在籍可能期間内に、ゆうび介護福祉学院が開講する研修に補講として参加し、必要な時間数を受講する場合の費用は、事務手数料3,000円(税別)のみとする。

1 7 退学規程

(1) 受講生に次の行為のあった時には、学校長が退学を命ずることができる。

- ① 授業を聞かない、演習に参加しない、私語が多いなど、学習態度の改善が見込まれない者。
- ② 担当者からの学習指導等に応じない者。
- ③ 正当な理由なくして通信課題の未提出が常である者。
- ④ 研修の秩序を乱していると判断された者。
- ⑤ 受講料や補講料等の納入金について定められた期日に納入しない者。

(2) 自ら退学しようとするときは、所定の退学届を提出すること。

様式6 退学届出書

18 秘密の保持

ゆうび介護福祉学院は、研修の実施により知り得た受講生の個人情報について、研修中及び研修が修了した後も、正当な理由なく漏らしてはならない。

附則

この学則は2019年7月25日から施行する。

介護福祉士実務者養成研修 有資格別受講科目と時間数

領 域	科 目	時間数	無資格		初任者修了		2級修了		1級修了		基礎研修修了	
			通 信 時間数	通 学 時間数	通 信 時間数	通 学 時間数	通 信 時間数	通 学 時間数	通 信 時間数	通 学 時間数	通 信 時間数	通 学 時間数
人間と 社会	1 人間の尊厳と自立	5	15	-	免除	-	免除	-	免除	-	免除	-
	2 社会の理解Ⅰ	5	15	-	免除	-	免除	-	免除	-	免除	-
	3 社会の理解Ⅱ	30	90	-	90	-	90	-	免除	-	免除	-
介護	4 介護の基本Ⅰ	10	30	-	免除	-	免除	-	免除	-	免除	-
	5 介護の基本Ⅱ	20	60	-	60	-	免除	-	免除	-	免除	-
	6 コミュニケーション技術	20	60	-	60	-	60	-	免除	-	免除	-
	7 生活支援技術Ⅰ	20	60	-	免除	-	免除	-	免除	-	免除	-
	8 生活支援技術Ⅱ	30	90	-	免除	-	免除	-	免除	-	免除	-
	9 介護過程Ⅰ	20	60	-	免除	-	免除	-	免除	-	免除	-
	10 介護過程Ⅱ	25	75	-	75	-	75	-	免除	-	免除	-
11 介護過程Ⅲ	45	-	45	-	45	-	45	-	45	免除	-	
こころと からだの しくみ	12 発達と老化の理解Ⅰ	10	30	-	30	-	30	-	免除	-	免除	-
	13 発達と老化の理解Ⅱ	20	60	-	60	-	60	-	免除	-	免除	-
	14 認知症の理解Ⅰ	10	30	-	免除	-	30	-	免除	-	免除	-
	15 認知症の理解Ⅱ	20	60	-	60	-	60	-	免除	-	免除	-
	16 障害の理解Ⅰ	10	30	-	免除	-	30	-	免除	-	免除	-
	17 障害の理解Ⅱ	20	60	-	60	-	60	-	免除	-	免除	-
	18 こころとからだのしくみⅠ	20	60	-	免除	-	免除	-	免除	-	免除	-
19 こころとからだのしくみⅡ	60	180	-	180	-	180	-	免除	-	免除	-	
医療的 ケア	20 医療的ケア	62	150	12	150	12	150	12	150	12	150	12
合計		462	1,215	57	825	57	825	57	150	57	150	12
			1,272		882		882		207		162	

介護福祉士実務者研修 標準通学日程カレンダー(4月開講)

2020年4月

水	木	金	土	日	月	火
1 開講	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29祝	30					

2020年7月

水	木	金	土	日	月	火
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

2020年5月

水	木	金	土	日	月	火
		1	2	3祝	4祝	5祝
6振休	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

2020年8月

水	木	金	土	日	月	火
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20祝	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

2020年6月

水	木	金	土	日	月	火
				1	2	3
4祝	5祝	6祝	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

2020年9月

水	木	金	土	日	月	火
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30 修了

1時間目 9:00 - 10:00	2時間目 10:10 - 11:10	3時間目 11:20 - 12:20	昼休み 12:20 - 13:20	4時間目 13:20 - 14:20	5時間目 14:30 - 15:30	6時間目 15:40 - 16:40
----------------------	-----------------------	-----------------------	----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------

介護福祉士実務者養成研修 研修日程表

基礎研修修了者				4月	5月	6月	7月	8月	9月	補講					
科 目		通 信 時 間 数	通 学 時 間 数												
1	人間の尊厳と自立	0	0												
2	社会の理解Ⅰ	0	0												
3	社会の理解Ⅱ	0	0												
4	介護の基本Ⅰ	0	0												
5	介護の基本Ⅱ	0	0												
6	コミュニケーション技術	0	0												
7	生活支援技術Ⅰ	0	0												
8	生活支援技術Ⅱ	0	0												
9	介護過程Ⅰ	0	0												
10	介護過程Ⅱ	0	0												
11	介護過程Ⅲ	0	0												
12	発達と老化の理解Ⅰ	0	0												
13	発達と老化の理解Ⅱ	0	0												
14	認知症の理解Ⅰ	0	0												
15	認知症の理解Ⅱ	0	0												
16	障害の理解Ⅰ	0	0												
17	障害の理解Ⅱ	0	0												
18	こころとからだのしくみⅠ	0	0												
19	こころとからだのしくみⅡ	0	0												
20	医療的ケア	150	12						課題提出	通学 (12時間)					
合計		150	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	150	12
		162		0		0		0		0		0		162	

各月の末日までに、定められた課題を提出してください。

介護福祉士実務者養成研修 研修日程表

1級修了者

科 目		通 信 時間数	通 学 時間数	4月		5月		6月		7月		8月		9月		補講
1	人間の尊厳と自立	0	0													
2	社会の理解Ⅰ	0	0													
3	社会の理解Ⅱ	0	0													
4	介護の基本Ⅰ	0	0													
5	介護の基本Ⅱ	0	0													
6	コミュニケーション技術	0	0													
7	生活支援技術Ⅰ	0	0													
8	生活支援技術Ⅱ	0	0													
9	介護過程Ⅰ	0	0													
10	介護過程Ⅱ	0	0													
11	介護過程Ⅲ	0	45					通学 (9時間)	通学 (18時間)	通学 (18時間)						
12	発達と老化の理解Ⅰ	0	0													
13	発達と老化の理解Ⅱ	0	0													
14	認知症の理解Ⅰ	0	0													
15	認知症の理解Ⅱ	0	0													
16	障害の理解Ⅰ	0	0													
17	障害の理解Ⅱ	0	0													
18	こころとからだのしくみⅠ	0	0													
19	こころとからだのしくみⅡ	0	0													
20	医療的ケア	150	12									課題提出	通学 (12時間)			
合計		150	57	0	0	0	0	0	9	0	18	0	18	150	12	
		207		0		0		9		18		18		162		

各月の末日までに、定められた課題を提出してください。

介護福祉士実務者養成研修 研修日程表

初任者研修修了者

				4月		5月		6月		7月		8月		9月		補講	
科 目		通 信 時間数	通 学 時間数														
1	人間の尊厳と自立	0	0														
2	社会の理解Ⅰ	0	0														
3	社会の理解Ⅱ	90	0					課題提出									
4	介護の基本Ⅰ	0	0														
5	介護の基本Ⅱ	60	0					課題提出									
6	コミュニケーション技術	60	0					課題提出									
7	生活支援技術Ⅰ	0	0														
8	生活支援技術Ⅱ	0	0														
9	介護過程Ⅰ	0	0														
10	介護過程Ⅱ	75	0					課題提出									
11	介護過程Ⅲ	0	45					通学 (9時間)	通学 (18時間)	通学 (18時間)							
12	発達と老化の理解Ⅰ	30	0						課題提出								
13	発達と老化の理解Ⅱ	60	0						課題提出								
14	認知症の理解Ⅰ	0	0														
15	認知症の理解Ⅱ	60	0						課題提出								
16	障害の理解Ⅰ	0	0														
17	障害の理解Ⅱ	60	0										課題提出				
18	こころとからだのしくみⅠ	0	0														
19	こころとからだのしくみⅡ	180	0										課題提出				
20	医療的ケア	150	12										課題提出	通学 (12時間)			
合計		825	57	0	0	0	0	285	9	150	18	240	18	150	12		
		882		0		0		294		168		258		162			

各月の末日までに、定められた課題を提出してください。

介護福祉士実務者養成研修 研修日程表

2級修了者

科目			4月	5月	6月	7月	8月	9月	補講							
通	信	通														
時間数	時間数	学														
時間数	時間数	時間数														
1	人間の尊厳と自立	0	0													
2	社会の理解Ⅰ	0	0													
3	社会の理解Ⅱ	90	0			課題提出										
4	介護の基本Ⅰ	0	0													
5	介護の基本Ⅱ	0	0													
6	コミュニケーション技術	60	0			課題提出										
7	生活支援技術Ⅰ	0	0													
8	生活支援技術Ⅱ	0	0													
9	介護過程Ⅰ	0	0													
10	介護過程Ⅱ	75	0			課題提出										
11	介護過程Ⅲ	0	45			通学 (9時間)	通学 (18時間)	通学 (18時間)								
12	発達と老化の理解Ⅰ	30	0				課題提出									
13	発達と老化の理解Ⅱ	60	0				課題提出									
14	認知症の理解Ⅰ	30	0				課題提出									
15	認知症の理解Ⅱ	60	0				課題提出									
16	障害の理解Ⅰ	30	0				課題提出									
17	障害の理解Ⅱ	60	0					課題提出								
18	こころとからだのしくみⅠ	0	0													
19	こころとからだのしくみⅡ	180	0					課題提出								
20	医療的ケア	150	12					課題提出	通学 (12時間)							
合計			825	57	0	0	0	0	225	9	210	18	240	18	150	12
			882		0		0		234		228		258		162	

各月の末日までに、定められた課題を提出してください。

介護福祉士実務者養成研修 研修日程表

無資格者				4月	5月	6月	7月	8月	9月	補講						
科目		通信 時間数	通学 時間数													
1	人間の尊厳と自立	15	0	課題提出												
2	社会の理解Ⅰ	15	0	課題提出												
3	社会の理解Ⅱ	90	0	課題提出												
4	介護の基本Ⅰ	30	0	課題提出												
5	介護の基本Ⅱ	60	0		課題提出											
6	コミュニケーション技術	60	0		課題提出											
7	生活支援技術Ⅰ	60	0		課題提出											
8	生活支援技術Ⅱ	90	0			課題提出										
9	介護過程Ⅰ	60	0			課題提出										
10	介護過程Ⅱ	75	0			課題提出										
11	介護過程Ⅲ	0	45			通学 (9時間)	通学 (18時間)	通学 (18時間)								
12	発達と老化の理解Ⅰ	30	0				課題提出									
13	発達と老化の理解Ⅱ	60	0				課題提出									
14	認知症の理解Ⅰ	30	0				課題提出									
15	認知症の理解Ⅱ	60	0				課題提出									
16	障害の理解Ⅰ	30	0				課題提出									
17	障害の理解Ⅱ	60	0					課題提出								
18	こころとからだのしくみⅠ	60	0					課題提出								
19	こころとからだのしくみⅡ	180	0					課題提出								
20	医療的ケア	150	12					課題提出	通学 (12時間)							
合計		1,215	57	150	0	180	0	225	9	210	18	300	18	150	12	
		1,272		150		180		234		228		318		162		

各月の末日までに、定められた課題を提出してください。

介護福祉士実務者養成研修 受講料

無資格者	120,000円(税別)	テキスト代を含みます
初任者研修修了者	105,000円(税別)	テキスト代を含みます
2級課程修了者	90,000円(税別)	テキスト代を含みます
1級課程修了者	69,000円(税別)	テキスト代を含みます
基礎研修修了者	54,000円(税別)	テキスト代を含みます

介護福祉士実務者養成研修 教材目録

領 域	科 目	主要テキスト	通信課題	無資格	初任者 修了	2級 修了	1級 修了	基礎研 修修了
				8巻	7巻	6巻	2巻	1巻
人間と 社会	1 人間の尊厳と自立	第1巻 人間の尊厳と自立・社会の理解	第1課題 人間の尊厳と自立・社会の理解	○	○	○	免除	免除
	2 社会の理解Ⅰ							
	3 社会の理解Ⅱ							
介護	4 介護の基本Ⅰ	第2巻 介護の基本的理解とリスクマネジメント	第2課題 介護の基本的理解とリスクマネジメント	○	○	免除	免除	免除
	5 介護の基本Ⅱ							
	6 コミュニケーション技術	第3巻 介護におけるコミュニケーション技術	第3課題 介護におけるコミュニケーション技術	○	○	○	免除	免除
	7 生活支援技術Ⅰ	第4巻 生活支援の技術と環境整備	第4課題 生活支援の技術と環境整備	○	免除	免除	免除	免除
	8 生活支援技術Ⅱ							
	9 介護過程Ⅰ	第5巻 介護過程の基礎的知識と応用、演習の手引き	第5課題 介護過程の基礎的知識と応用、演習の手引き	○	○	○	○	免除
	10 介護過程Ⅱ							
	11 介護過程Ⅲ							
こころとからだのしくみ	12 発達と老化の理解Ⅰ	第6巻 老年期の疾病と認知症・障害の理解	第6課題 老年期の疾病と認知症・障害の理解	○	○	○	免除	免除
	13 発達と老化の理解Ⅱ							
	14 認知症の理解Ⅰ							
	15 認知症の理解Ⅱ	第7巻 介護にかかわるこころとからだ	第7課題 介護にかかわるこころとからだ	○	○	○	免除	免除
	16 障害の理解Ⅰ							
	17 障害の理解Ⅱ	第8巻 医療的ケアの理論と実践	第8課題 医療的ケアの理論と実践	○	○	○	○	○
	18 こころとからだのしくみⅠ							
19 こころとからだのしくみⅡ								
医療的 ケア	20 医療的ケア	第8巻 医療的ケアの理論と実践	第8課題 医療的ケアの理論と実践	○	○	○	○	○

「○」は、テキストと通信課題を使用します。

修了認定の方法

1 出欠の確認方法

- (1) 出席簿は、講義毎(1時限目、2時限目、3時限目・・・ごと)に押印欄を設ける。
- (2) 出席簿は、同一時限内に2項目実施する場合には、項目ごとに押印欄を設ける。
- (3) 受講生は、各時限ごとに、出席簿に押印する。
- (4) 担当講師は、各時限ごとに受講生の出欠を確認する。出席が確認できた場合には、講義時間終了後に押印する。

2 成績の評定方法

(1) 課題提出科目

受講生は、学則別紙3に示す期間内に課題を提出すること。各担当講師が2週間以内に添削等評価し評価結果を通知する。 様式7 添削結果通知書

① 評価方法

科目ごとに100点満点とし、優(80点以上)、良(70点~79点)、可(60点~69点)、不可(0~59点)と評価する。

② 修了認定基準は「可」以上とし、評価「不可」の者に対して再評価を行う。

(2) 介護過程Ⅲ(スクーリング)

受講生の授業態度と習熟度について評価する。

① 評価方法

100点満点とし、優(80点以上)、良(70点~79点)、可(60点~69点)、不可(0~59点)と評価する。

② 修了認定基準は「可」以上とし、評価「不可」の者に対して補講を行い再評価を行う。

(3) 医療的ケアの演習(スクーリング)

受講生の授業態度と習熟度について評価する。

① 評価方法

100点満点とし、優(80点以上)、良(70点~79点)、可(60点~69点)、不可(0~59点)と評価する。

② 修了認定基準は「可」以上とし、評価「不可」の者に対して補講を行い再評価を行う。

3 修了の認定

- (1) 保有資格により定められた課題を全て提出し、認定基準を満たすこと。
- (2) 介護過程Ⅲと医療的ケアを受講し、認定基準を満たすこと。

受講決定通知書

様

年 月 日

有限会社 優美

ゆうび介護福祉学院

取締役 永田 真理

拝啓 時下ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、このたびお申込みをいただきました介護福祉士実務者養成研修について、受講を許可いたしますので通知いたします。

敬具

開講前受講辞退届出書

有限会社 優 美
ゆうび介護福祉学院
取締役 永田 真理 様

年 月 日 開講介護福祉士実務者養成研修の受講の辞退を、下記のとおり届け出ます。

年 月 日

氏名 _____ 印

辞退の理由

開講後受講辞退届出書

有限会社 優 美
ゆうび介護福祉学院
取締役 永田 真理 様

年 月 日 開講介護福祉士実務者養成研修の受講の辞退を、下記のとおり届け出ます。

年 月 日

氏名 _____ (印)

辞退する時期 _____ 年 月 日から

辞退の理由 _____

退学届出書

有限会社 優 美
ゆうび介護福祉学院
取締役 永田 真理 様

私は、下記の理由によりゆうび介護福祉学院を退学いたしたく、お届けいたします。

退学の理由

年 月 日

氏名 _____ 印

介護福祉士実務者養成研修時間割

科目	時間数	テーマ	学習内容
人間の尊厳と自立	5	人間の尊厳と自立	尊厳の保持、自立・自律の支援、ノーマライゼーション、利用者のプライバシーの保護、権利擁護等、介護の基本的な理念を理解する。
社会の理解Ⅰ	5	介護保険制度	介護保険制度の体系、目的、サービスの種類と内容、利用までの流れ、利用者負担、専門職の役割等を理解し、利用者等に助言できる。
社会の理解Ⅱ	30	生活と福祉	家族、地域、社会との関連から生活と福祉をとらえることができる。
		社会保障制度	社会保障制度の発達、体系、財源等についての基本的な知識を修得している。
		障害者自立支援制度	障害者自立支援制度の体系、目的、サービスの種類と内容、利用までの流れ、利用者負担、専門職の役割等を理解し、利用者等に助言できる。
		介護実践に関する諸制度	成年後見制度、生活保護制度、保健医療サービス等、介護実践に関する制度の概要を理解している。
介護の基本Ⅰ	10	介護福祉士制度	介護福祉士制度の沿革、法的な定義・業務範囲・義務等を理解している。
		尊厳の自立保持、自立に向けた介護の考え方と展開	個別ケア、ICF（国際生活機能分類）、リハビリテーション等の考え方を踏まえ、尊厳の保持、自立に向けた介護を展開するプロセス等を理解している。
		介護福祉士の倫理	介護福祉士の職業倫理、身体拘束禁止・虐待防止に関する法制度を理解し、倫理の厳守について理解する。
介護の基本Ⅱ	20	介護を必要とする人の生活の理解と支援	介護を必要とする高齢者や障害者等の生活を理解し、ニーズや支援の課題を把握することができる。
		介護実践における連携	チームアプローチに関わる職種や関係機関の役割、連携方法に関する知識を修得する。
		介護における安全の確保とリスクケアマネジメント	リスクの分析と事故防止、感染管理等、介護における安全確保に関する知識を修得する。
		介護職員の健康管理と労働法規	介護福祉士の心身の健康管理や労働安全対策に関する知識を修得する。
コミュニケーション技術	20	介護におけるコミュニケーション技術	利用者・家族とのコミュニケーション・相談援助の技術を修得している。

		介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション	援助関係を構築し、ニーズや意欲を引き出すことができる。利用者の感覚・運動・認知等の機能に応じたコミュニケーションの技法を選択し、活用できる。
		介護におけるチームのコミュニケーション	状況や目的に応じた記録、報告、会議等での情報の共有化ができる。
生活支援技術 I	20	生活支援と ICF	生活援助における ICF の意義と枠組みを理解している。
		ボディメカニクスの活用	ボディメカニクスを活用した介護の原則を理解し、実施できる。
		介護技術の基本	介護技術の基本（移動・移乗、食事、入浴・清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔清潔、家事援助等）を修得している。
		環境整備、福祉用具活用等の視点	居住環境の整備、福祉用具の活用等により、利用者の環境を整備する視点・留意点を理解している。
生活支援技術 II	30	利用者の心身の状況に合わせた介護、福祉用具等の活用、環境整備	移動・移乗、食事、入浴・清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔清潔、睡眠、終末期の介護について、利用者の心身の状況に合わせた介護、福祉用具等の活用、環境整備を行うことができる。
介護過程 I	20	介護過程の基礎的知識	介護過程の目的、意義、展開等を理解している。
		介護過程の展開	介護過程を踏まえ、目標に沿って計画的に介護を行う。
		介護過程とチームアプローチ	チームで介護過程を展開するための情報共有の方法、各職種役割を理解している。
介護過程 II	25	介護過程の展開の実際	情報収集、アセスメント、介護計画立案、実施、モニタリング、介護計画の見直しを行うことができる。
介護過程 III	45	介護過程の展開の実際介護技術の評価	実務者研修課程で学んだ知識・技術を確実に習得し、活用できる。知識・技術を総合的に活用し、利用者の心身の状況等に応じて介護過程を展開し、系統的な介護（アセスメント、介護計画立案、実施、モニタリング、介護計画の見直し等）を提供できる。介護計画を踏まえ、安全確保・事故防止、家族との連携・支援、他職種、他機関との連携を行うことができる。知識・技術を総合的に活用し、利用者の心身の状況等に応じた介護を行うことができる。
発達と老化の理解 I	10	老化に伴う心の変化と日常生活への影響	老化に伴う心理的な変化の特徴と日常生活への影響を理解している。

		老化に伴うからだの変化と日常生活への影響	介護保険制度の体系、目的、サービスの種類と内容、利用までの流れ、利用者負担、専門職の役割等を理解し、利用者等に助言できる。
発達と老化の理解Ⅱ	20	人間の成長・発達	発達の定義、発達段階、発達課題について理解している。
		老年期の発達・成熟と心理	老年期の発達課題、心理的な課題（老化、役割の変化、障害、喪失、経済的不安、うつ等）との支援の留意点について理解している。
		高齢者に多い症状・疾病等と留意点	高齢者に多い症状・疾病等と支援の留意点について理解している。
認知症の理解Ⅰ	10	認知症ケアの理念	認知症ケアの取組の経過を踏まえ、今日的な認知症ケアの理念を理解している。
		認知症による生活障害、心理・行動の特徴	認知症による生活上の障害、心理・行動の特徴を理解している。
		認知症の人とのかかわり・支援の基本	認知症の人やその家族に対する関わり方の基本を理解している。
認知症の理解Ⅱ	20	医学的側面から見た認知症の理解	代表的な認知症（若年性認知症を含む）の原因疾患、症状、障害、認知症の進行による変化、検査や治療等についての医学的知識を理解している。
		認知症の人や家族への支援の実際	認知症の人の生活歴、疾患、家族・社会関係、居住環境等についてアセスメントし、その状況に合わせた支援ができる。地域におけるサポート体制を理解し、支援に活用できる。
障害の理解Ⅰ	10	障害者福祉の理念	障害の概念の変遷や障害者福祉の歴史を踏まえ、今日的な障害者福祉の理念を理解している。
		障害による生活障害、心理・行動の特徴	障害（身体・知的・精神・発達障害・難病等）による生活上の障害、心理・行動の特徴を理解している。
		障害者や家族へのかかわり・支援の基本	障害児者やその家族に対する関わり・支援の基本を理解している。
障害の理解Ⅱ	20	医学的側面からみた障害の理解	様々な障害の種類・原因・特性、障害に伴う機能の変化等についての医学的知識を修得している。
		障害児者への支援の実際	障害児者の障害、家族・社会関係、居住環境等についてアセスメントし、その状況に合わせた支援ができる。地域におけるサポート体制を理解し、支援に活用できる。

こころとからだのしくみⅠ	20	介護に関係した身体の仕組みの基礎的な理解	介護に関係した身体の構造や機能に関する基本的な知識を修得している。
こころとからだのしくみⅡ	60	人間の心理	人間の基礎的要求、学習・記憶等に関する基礎的知識を修得している。
		人体の構造と機能	生命の維持・恒常、人体の部位、骨格・関節・筋肉・神経、ボディメカニクス等、人体の構造と機能についての基本的な知識を修得している。
		身体の仕組み、心理・認知機能等を踏まえた介護におけるアセスメント・観察のポイント、介護・連携等の留意点	身体の仕組み、心理・認知機能等についての知識を活用し、アセスメント、観察、介護、他職種との連携が行える。
医療的ケア	50	医療的ケアの実施と基礎喀痰吸引（基礎的知識・実施手順） 経管栄養（基礎的知識・実施手順）	医療的ケアを安全・適切に実施するために必要な知識・技術を修得する。
医療的ケア （講義・演習）	12	講義・演習	医療的ケアを安全・適切に実施するために必要な知識・技術を修得する。技術を踏まえ、演習を通じて理解を深める。